



富貴寺や熊野磨崖仏、ボンネットバス…

豊後高田名物 人形焼きに



【豊後高田】豊後高田市内の観光名所をかたどった人形焼きができた。生地に「特産の養蚕糸タマゴラン（香々地長命草）を練り込んでいる。商品名は「人形焼き」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

地元企業や団体が協力、開発

香々地長命草は、生地に香々地長命草を練り込んでいる。生地に「新しい豊後高田の名物菓子に」とPRする高梨大輔代表と菓子作りの高田屋。

特産の香々地長命草練り込む

豊後高田、国東両市でつくられた「大分県日本遺産推進協議会」（事務局・豊後高田市内）と、菓子作りの高田屋（同市金谷町）が共同で開発している。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

【豊後高田】豊後高田市内の観光名所をかたどった人形焼きができた。生地に「特産の養蚕糸タマゴラン（香々地長命草）を練り込んでいる。商品名は「人形焼き」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

「人形焼き」は、生地に「香々地長命草」を練り込んでいる。商品名は「人形焼き」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

「人形焼き」は、生地に「香々地長命草」を練り込んでいる。商品名は「人形焼き」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。

「人形焼き」は、生地に「香々地長命草」を練り込んでいる。商品名は「人形焼き」。関係者は「新しい名物菓子にしたい。多くの人に食べてほしい」とPRしている。



〔問①〕記事の中から答えを見つけて（ ）の中に書きましょう。

(富貴寺大堂)や熊野磨崖仏、昭和の町の(ボンネットバス)など豊後高田市の名所や名物をモチーフにした人形焼きは(人形長命焼)と名付けられた。また、人形焼きの生地に練り込まれている(ボタンボウフウ)は市の特産で、“香々地長命草”とも言われ、健康食品として注目されている。

〔問②〕以下の4つの文章のうち、この記事に書かれている事実として正しいものを1つ選んでください。

㊦：人形焼きは6個入り1100円（税込み）からで、菓子禅高田屋の店舗や市内のスーパーで販売されている。

㊧：菓子禅高田屋が豊後高田市の名所などをモチーフにした金型を制作し、人形焼きを開発した。

㊨：人形焼きのあんの種類は、つぶあん、こしあん、カスタード、チョコレートの4種類にした。

㊩：「六郷満山日本遺産推進協議会」は蒸留酒クラフトジンを豊後高田市の企業と開発した。

答え： ㊦

〔問③〕豊後高田市では、名所や名物をお菓子のデザインとして活用していますが、これは地元の魅力を全国に伝えるために、どのような効果があると思いますか。あなたの考えを書いてください。

・豊後高田市のことをあまり知らない人たちにも、どんな魅力があるのか視覚的にわかりやすく知ってもらえる。

・地元のPRと「食」をコラボさせることで、お菓子を買った人や、お菓子を食べる人に対して地元を紹介する機会をつくることができる。